

どうして厚生労働省を選んだか?など あなたの疑問や決断のヒントが、入省者の生の声にあります。

- Q1: 厚生労働省に入ろうと思ったきっかけ**
Q2: 厚生労働省に入って良かったと思う瞬間
Q3: 今までに一番印象に残った業務の内容と、その業務を成し遂げたときの感想
Q4: 今後の夢や目標
Q5: 厚生労働省を目指す学生へメッセージ

大臣官房
統計情報部企画課
情報企画室
評価支援第一係
坂部 太一



- A1** 契機は娘の誕生です。子どもが育つ環境を現状よりも、より良いものにしたいと思い、厚生労働省を目指しました。
- A2** 周囲の支えもあって、家族を大切にしながら、仕事にも集中できることです。
- A3** 省内の各部局への支援として、提供した統計情報の内容が、施策に反映されたとき、国家公務員としての責務を再度実感しました。
- A4** 娘たちが憧れを抱いてくれるような仕事をすることです。
- A5** 関心事や知識を、幅広く試すことのできる職場です。

健康局疾病対策課
臓器移植対策室
移植普及係
有賀 裕子



- A1** 学生時代にインドやフィリピンに行き、公衆衛生に興味を持ちました。人の生活に欠かせない部分に携わりたいと思いました。
- A2** あるイベントで、臓器移植をうけた方の話を聞いて、自分の行った仕事は個人の人生や笑顔に通じていることを感じたとき。
- A3** 日常的に行っている仕事ですが、ドナーの方に感謝状を贈る仕事。喜ばれた様子を耳にすると、すごく嬉しい!
- A4** 人の気持ちや状況を思いやり、実行力のある「そうぞう力=想像力、創造力」豊かな公務員!
- A5** 陰ながらではあっても、人の生活に確実に影響する重要な、素敵な仕事だと思います。応援しています。

医薬食品局
審査管理課
医療機器審査管理室
管理係
伊藤 健治



- A1** 福祉や医療の制度がどのような仕組みでつくられていくのかに関心があったので。
- A2** 一般の人からのお問い合わせの対応などで、想像以上に感謝され自分の仕事がかかっていると感じたとき。
- A3** 医療機器の製造施設等を調査し意見交換を行ったことで、普段の業務においても実際の現場を意識していく必要性を実感した。
- A4** 様々な行政分野にかかわり、霞ヶ関でできない経験を重ねていくことで自分を成長させていきたい。
- A5** 「厚生労働省で何をしたいのか」基本的なことですが、就職活動中も就職後もやっぱりこれが一番大切だと思います。

社会・援護局
障害保健福祉部
企画課障害計画係
滝澤 智史



- A1** 厚生労働省では福祉や医療等に関する様々な施策を実施しており、人の一生を支援できる職場であると思ったこと。
- A2** 障害者の方々から制度についての質問や相談を受けた際に、感謝の言葉をいただいたとき。
- A3** 現在実施している障害者施策に関して、障害者の方々との意見交換の場に参加したこと。普段は直接会ってお話しできない当事者の方々の意見を聞くことで、今後講ずべき支援のあり方を考えさせられた。
- A4** 様々な業務を経験することにより、将来的にはその経験を活かして、充実した福祉施策の策定に携わりたい。
- A5** 厚生労働省は日々の生活に関する様々な施策に携われる職場です。みなさんもそんなやりがいのある職場で一緒に働いてみませんか。

老健局振興課
人材研修係
櫻井 琢磨



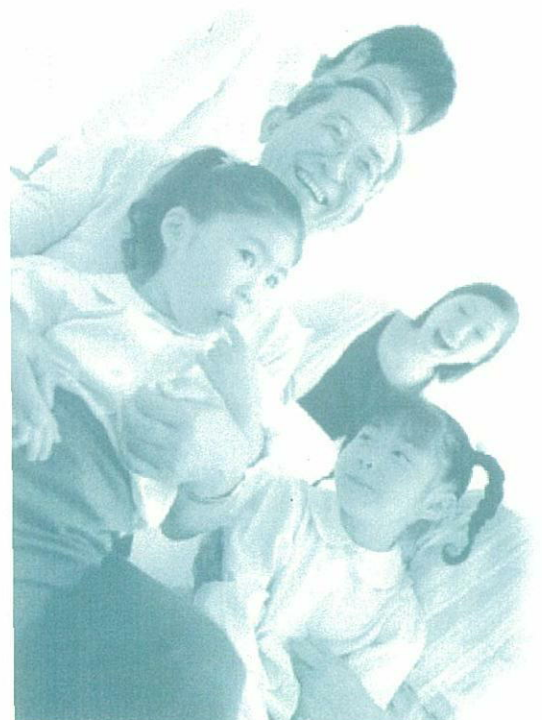
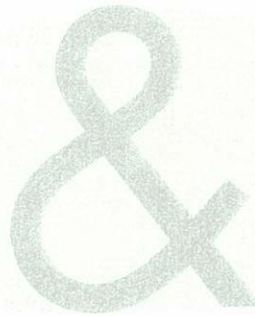
- A1** 大学生の頃に障害者介助をやっていたことがきっかけとなって、福祉行政に興味を持ちました。
- A2** 自治体の方をはじめ、事業者や利用者の方など、様々な人と関わり、交流をすることが入ってよかったと思います。
- A3** 全国調査の集計作業を行ったことが印象に残っています。達成感だけでなく、数字を公表することの責任の大きさを感じました。
- A4** 忙しい中でも、毎日明るく元気に仕事ができるようになりたいです。
- A5** 厚生労働省の業務は国民の「くらし」に密着しているため、注目が高く、責任も大きいものです。仕事は大変ですが、挑戦してみることを是非おすすめします。

社会・援護局
援護企画課
中国孤児等
対策室経理係
五十嵐 綾人



- A1** 学生時代に病気を患い、健康に暮らすことの大切さを実感し、国民が健やかで安心して生活できる社会づくりに貢献したいと思い志望しました。
- A2** 頼もしい諸先輩方や、同期に巡り会えたことです。いつも温かくサポートして下さる先輩や、相談に乗ってくれる同期に支えられれば幸いです。
- A3** 当室の予算要求です。係長のサポートですが、翌年度の予算折衝を行いました。11年ぶりの増額要求を達成することができ、正直ホッとしました。
- A4** 援護局には孤児支援の他にも、遺族と共に硫黄島などの戦地へ赴いて慰霊巡拝を行う業務などがあり、それらについても機会があれば挑戦してみたいです。
- A5** 受験生の皆さんにとって苦しい時期ですが自分の信念を曲げず、そして体調管理をしっかり行って頑張ってください。

(所属部署は全て平成19年3月現在)



2年目職員 いろいろ 答えます!

医政局
指導課助成係
今井 摩由子



- A1** 大学では経済や経営について学んでいたのですが、法律や行政という新たな場所に自分の身を置いて、自分自身を成長させたかった。
- A2** 市民の声を生で聞き、今まで気づかなかったことを実感させられたりすることを通して、物事の考え方に幅が広がったと感じられるとき。
- A3** 補助金の交付を決定した際、自分が何億というお金を動かしていることに、大きな責任を感じるとともに充実感を感じた。
- A4** 多種多様な行政分野に携わり、偏らない物事の見方ができる人になること。
- A5** 自分のためではなく他人のために何かをしてあげたいと思う人!!ぜひ厚生労働省へ☆ 人生変わります!